

目指す将来像

小学校区単位等の地域で、行政区、自治公民館、消防団、PTA、老人クラブ、生産組合など各団体が「【仮称】地域づくり協議会」という新しいネットワークで連携し、地域課題の解決や地域の強みを生かした活性化につながる新たな取り組みを行い「参加と協働で築く町民主体のまち」を目指します。

地域づくり協議会のイメージ

地域課題解決のためのネットワークづくり

単位：概ね小学校区

役場

連携

地域づくり協議会

地域の各団体等がメンバーとなり、地域課題の解決などに向け、連携を図る。

緩やかなネットワーク

自治公民館

行政区

消防団

婦人会・各女性部

民生委員・児童委員

老人クラブ

PTA

社会福祉協議会

コミュニティ・スクール

自主防災組織

農地・水 関連団体

生産組合

など

地域住民



地域づくり計画(プラン)

健康・福祉
関係の実践

環境・美化
関係の実践

教育・子ども
関係の実践

防犯・防災
関係の実践

歴史・文化
関係の実践

〇〇関係
の実践

白石町協働による地域づくり検討委員会
(事務局 白石町 企画財政課 白石創生推進係)

〒849-1192 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247番地1

TEL 0952-84-7112 FAX 0952-84-6611

E-mail kikakuzaisei@town.shiroishi.lg.jp

URL https://www.town.shiroishi.lg.jp/chousei_machi/seisaku/_1701.html



町民協働によるまちづくり

参加と協働で築く町民主体のまち



平成31年1月

「町民協働」とはということ？

「協働」とは、簡単に言うと「同じ目的のために、協力して働くこと」です。世の中の社会情勢や、町民の皆さんのライフスタイルやニーズが変化していく中、役場だけでなく、皆さんや、各地域における様々な団体等が共に考え、共に活動していただくことです。

どうして「町民協働によるまちづくり」が必要なの？

【全国的な背景】

- 地域への連帯感・意識の希薄化
- 少子高齢化・人口減少・混住化
- 住民ニーズの多様化
- 国・地方の厳しい財政状況



【一方白石町では…】

町民アンケート結果や協働による地域づくり検討委員会の意見から

- 若い人達の地域活動等への関心度が低く、参加も少ない。
- 少子高齢化により、地域の担い手がいない、活動を手伝う人がいない。
- 活動に参加する時間が確保できない。

→ 町民の協働意識を高める必要がある。

- 高齢者福祉への対応や、子どもの居場所づくり、子育て支援活動のサポートが必要である。

→ 行政区の単位を越えた地域(小学校区等)での活動を行えるネットワークづくりが必要である。

- (地元定着のため)郷土への愛着をはぐくむ必要がある。

→ 地域の伝統的な活動等を継続し、新しいニーズの把握や対応(イベント等)が必要である。

- 地域によって活動の活発さに差がある。
- 地域や各団体の活動内容がよくわからない。

→ 地域内での組織及び団体の連携を強化すると同時に、情報を積極的に発信する必要がある。

たとえば・・・こういうイメージです！

地域のいろいろな 課題、問題

防犯・防災 環境・美化
健康・福祉 教育・子ども 歴史・文化 その他…



① 地域で話し合おう！

地域づくり協議会設立準備委員会
(地域内各団体の代表などが話し合う場)

防犯・防災 健康・福祉 環境・美化
教育・子ども 歴史・文化 その他…

ワークショップ
(地域内の住民が意見を出し合いながら話し合う場)

防犯・防災 健康・福祉 環境・美化
教育・子ども 歴史・文化 その他…

地域づくり計画
(地域内の住民の話し合いの結果、決まった地域の活動計画)

② 地域で活動しよう！

地域づくり協議会
(地域づくり計画のメニューを実践)

